

平成30年第1回黒部市議会3月定例会

一般質問（代表・個人） 通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	新政会 川上 浩	<p>1 4期14年間の市長任期を振り返って</p> <p>(1) 市町村合併による新市建設計画を踏まえ、新市の将来像を「大自然のシンフォニー、文化交流のまち黒部」として策定した第1次総合振興計画の総括について</p> <p>(2) 「普段の毎日にこそ、本当のしあわせがある。」と市長が掲げた4期目の公約について</p> <p>(3) 人口ビジョンを掲げ、新たに取り組む第2次総合振興計画のめざすところ</p> <p>(4) 市町村合併、消防事業の広域化による消防組合、新川広域圏、介護保険・ケーブルテレビ事業組合、そして医療圏としての広域医療など行政としての枠組みを超える課題への取組の成果と今後の課題について</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
2	新風の会 柴沢 太郎	<p>1 第1次総合振興計画の評価と財政状況を踏まえた今後の財政運営について</p> <p>(1) 小中学校の耐震化・大規模改修にはじまり、消防庁舎、新幹線新駅周辺整備、幹線道路整備、市役所庁舎、市民病院増改築など、第1次総合振興計画においては市民にとって懸案の生活・社会基盤の重点事業が整備された。市民からは、数多くの資産形成を喜ぶ一方で、将来負担を心配する声も聞かれる。そこで本市の財政状況について、改めて、平成28年度決算の健全化判断比率からどのようなレベルにあるのか、監査委員に伺う</p> <p>(2) 加えて、財政力指数や経常収支比率、公債費負担比率など各財政指標の推移から見て取れる現在の財政状況を、県内他市町村と比較してどのように分析しているのか問う</p> <p>(3) 今後の財政負担への備えとして基金がある。昨今、国レベルでは積立金による基金の増大について議論があるが、本市における現在高の推移と今後の財政運営における基金活用の考え方について問う</p> <p>(4) 開かれた行政を推進するうえで、市民にわかりやすい説明が重要である。特に、財政状況、予算、決算に関する情報は、非常に難しい内容であるが、だからこそ市民に寄り添った説明や報告が大切である。情報発信の現状を踏まえ、どう対応していくのか</p>	<p>監査委員</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	新風の会 柴沢太郎	<p>1 第1次総合振興計画の評価と財政状況を踏まえた今後の財政運営について</p> <p>(5) 今後の財政見通しと、平成30年度予算編成方針について伺う</p> <p>(6) 市債残高が増加してきているが、懸念はないのか。提案理由には、財政運営指針に基づく財務規律の堅持と市政発展のための投資のバランスを保ちながら、持続可能な財政運営に徹するとあったが、より具体的には、どのように財政マネジメントしていくことを指すのか</p> <p>(7) 旧黒部市と旧宇奈月町の合併によって合併特例債が導入でき、今日的な街づくりが進められてきたものとする。合併に至った思い、そして第1次総合振興計画を終えるにあたり、市長の率直な感想を伺う。また、平成30年度から第2次総合振興計画スタートに際し、その舵取りを担う新しいリーダーへどのようにバトンタッチしていくのか</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
3	新樹会 川本敏和	<p>1 堀内市政総括と今後の黒部市について</p> <p>(1) 黒部の豊富な水を利用しての再生可能エネルギー利活用事業の小水力発電を着実に整備されたが、今後も電力の地産地消と観光資源に有効に活かしては</p> <p>(2) 森林は土砂災害防止機能や水源涵養機能、生物多様性保全機能のほか、先人が長年整備・管理された森林の伐採時期が来ているといえる。この豊富な木材資源を活かす必要があるのでは</p> <p>(3) 旧三日市小学校跡地に新庁舎が完成し、中心市街地の賑わい創出と空き店舗対策の状況と課題は。また、中心市街地を安心して歩くための歩道整備の計画は</p> <p>(4) 黒部宇奈月温泉駅が開業して3年、駅周辺施設の東側ロータリー広場の一般利用者の開放や駐車場の増設整備を進め、駅東側の利便性向上が必要では</p> <p>(5) あいの風とやま鉄道黒部駅周辺は、民間投資によるKタウンやKホールが完成し、新店舗等も開店し賑わい創出に繋がりがつつある。駅橋上化及び自由通路や西側改札口等の整備をスピード感を持って進めるべきでは</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
3	新樹会 川 本 敏 和	<p>2 働き方改革と行政改革について</p> <p>(1) 企業では「選択と集中」による事業の見直し・撤退などが行われ、業務の棚卸しの見直しによる、業務の改善、効率化が図られている。行政の事業や業務における取組は</p> <p>(2) 本市の行政改革大綱は、第2次総合振興計画と連動し、本市の経営戦略の一環として、市政運営の指針となるが、「働き方改革」の効果や影響は</p> <p>(3) 「一億総活躍社会」における「女性の活躍」推進施策は、大変重要である。特に女性が多い職場に保育、看護、介護などがある。職員の応募や採用に課題があると考えるが、働き方や処遇の課題と対策は</p> <p>(4) 近年定年を迎える教職員が増え、小中学校では若手の職員の採用が増え、出産や子育て世代の教員も増えると推測される。長時間労働が常態化していると考えられる。労務管理の実態把握と対策は</p> <p>(5) 「国づくりは人づくり」と言われる。教育の現場は「先生と生徒」だけである。つまり、教えるものと学ぶものである。基本的な知識を習得するだけでなく、生き生きとした教師を通して「学ぶ姿勢」や「生き方」を学ぶ場であり教養と人間力を育てると思う。教育行政は、そのような場づくりに取り組むべきでは</p>	<p>総務企画部長</p> <p>市 長</p> <p>市民生活部長 市民病院事務局長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p>
		<p>3 若者が夢と希望を持てるまちについて</p> <p>(1) 市内の空き家と市所有の遊休地の現状と課題は。また、その利活用を促進する対策は</p> <p>(2) 市は住宅取得支援補助金や空き家情報バンク推進事業を進めているが、その実績と課題は。また、新年度に拡充が図られるが、特に若い世帯の定住対策は</p> <p>(3) 人口減少対策として本市の人口動態の社会動態で20代の転入・転出数が高く進学や就職と推察するが、次に30代の数値が高い。若者の就職支援に商工会議所や企業と連携し、雇用情報の提供や相談に応じ転入増と転出抑制を図っては</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
4	日本共産党 橋 本 文 一	<p>1 出し平ダム、宇奈月ダムの連携排砂について</p> <p>(1) 平成30年度の排砂は確実にを行うことが重要である。出し平ダムへの流入量が少ないとき、必要なら黒部ダムの水を使った排砂の考えは</p> <p>(2) 平成29年度連携排砂計画では、融雪や梅雨等に流量の大きい時期に限り出し平ダム流入量が250m³/sに達した場合においても実施するとなっていたが。平成30年度の排砂計画から抜けた要因は。頻繁な排砂が必要では</p> <p>(3) 宇奈月ダムの湛水池内のボーリング調査が行われていない。宇奈月ダムの底質ボーリング調査を行う必要があるのでは</p> <p>(4) 平成29年度排砂(中止)等に関する関係団体からの意見と対応について問われている。特に、海面漁業関係団体からの6項目について市として、どう受け止めるか</p>	<p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>市 長</p>
		<p>2 新石田企業団地の売却について</p> <p>(1) 全員協議会で、新石田企業団地に入居予定であった、ソロパワー・ジャパン社との入居協定を解除したとの報告があった。入居協定とはどのような協定だったのか</p> <p>(2) 未売却地が長期間にわたると財政負担となる。今後の売却をどのようにしていくのか</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>

■一般質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	成川正幸 (一問一答方式)	1 移住定住施策について (1) Uターン者の受け皿を増やし、人員不足解消のために仕事情報サイトの富山Uターンガイドの募集掲載をもっと増やせないのか (2) 現在の移住体験ツアーなどの取り組み状況はどうか (3) 移住前にお試し住居としている市内の交流宿泊施設の利用状況はどうか (4) 本市と周辺自治体の空き家バンク掲載件数は何が違って差があるのか伺う (5) 空き家バンク掲載の課題を解決するために、荷物や仏壇を動かす事に支援できないか伺う (6) 本市の移住定住応援団の現状はどうか伺う (7) 今後、土日にかけている移住定住相談場所。例えば、黒部ふるさと回帰支援センターを作る考えはないか伺う (8) 移住希望者の問合せにスムーズに対応するために市役所担当窓口を一本化に出来ないか伺う	産業経済部長 総務企画部長 総務企画部長 都市建設部長 都市建設部長 総務企画部長 総務企画部長 市長
		2 地域団体の支援について (1) 老人クラブの現状と会員数の推移はどうか伺う (2) 地域にあるボランティア団体の把握はどこまでされているのか伺う (3) 地域のボランティア団体は10年後にどうなっていると考えるか伺う (4) 今後、ボランティア団体が継続していただくために支援は出来ないか伺う	市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長 市民生活部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	小柳 勇人 (一問一答方式)	<p>1 市債の種類と地方交付税の特徴について</p> <p>(1) 地方債の種類と特徴とは。また、交付税措置とはどのようなことなのかを問う</p> <p>(2) 来年度当初予算ベースで市債における、交付税措置がある市債の残高と交付税措置がない市債の残高とは。また交付税措置がない市債はどのように償還していくのかについて問う</p> <p>(3) 臨時財政対策債の特徴とは。平成13年度より創出され、臨時と名前があるが、現在では恒久的な制度となりつつある。制度上、起債していくことが良いと考えるが、起債時に留意すべき内容について問う。併せて、臨時財政対策債による財源は、当年の財源なのか、後年措置される財源なのか、市当局の考え方を問う</p> <p>(4) 一般財源ベースで、投資的経費とは、歳入から、義務的経費、経常経費を差し引いた金額と考えられるが、どのように算出するのか。また、この場合、歳入の柱は、市税と地方交付税と考えることが妥当なのかを問う</p> <p>(5) 地方交付税が減少している。来年度予算では、対今年度予算案で1億4千万円、内訳は合併特例の縮減が3200万円、特別枠が4000万円、単位見直しが7000万円と伺ったが、この単位見直しとはなにか。また、今後も見直した単位となるのかを問う</p> <p>(6) 中長期的な視点から、今後は地方交付税の減少(合併特例の縮減、単位見直し)が見込まれる。また、臨時財政対策債が赤字地方債の色合いが強いことから、一般財源ベースで投資的経費を確保していくにはどのようなことが必要なのかを問う</p> <p>(7) 現状の制度をふまえ、市民に分かりやすく地方財政の特徴や、投資的経費の確保についての留意点についてどのように説明していくのか、その手法について問う</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>
		<p>2 来年度予算の目玉事業、その目標値について</p> <p>(1) ワイズスペンディングの考え方とは。また、どのような予算査定方法だったのかを問う</p> <p>(2) 「黒部に住み、働きやすい環境づくり」では、移住・定住政策について、その事業成果目標を問う</p> <p>(3) 「若者が暮らし、結ばれ、産み育てる豊かさの実感」では、子育て世代政策について、その事業成果目標を問う</p> <p>(4) 「公共交通を軸としたコンパクトな都市構造の形成」では、都市・移居住機能の誘導について、その事業成果目標を問う</p> <p>(5) 「災害に強く、安全安心な社会」については、区画線補修工事費について、ストックマネジメントについて、その事業成果目標を問う</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋本文一 (一括方式)	<p>1 黒部川左岸若栗堤河川敷の有効活用について</p> <p>(1) 若栗地区では、平成12年に子供からお年寄りを含め、区民全体で黒部川左岸河川敷の有効利用による市民生活との共生という視点に立ち議論を重ね、平成13年7月に「仮称・黒部川ワンダーランド建設同盟会」を立ち上げ基本構想を作成した。基本構想の第1、には、水に親しみ、触れ合う区間としての黒部川。第2、には、水を中心とした自然を考える空間としての黒部川。第3、には、先人たちが水と協調し、水を克服しようと努めてきた歴史を考える空間。第4、には、黒部川の自然を体を感じ、共生する感覚をもつことのできる空間と位置付け、4つの基本構想のもとに、「仮称・黒部川ワンダーランド」の建設に向けて長年、区民全体で取り組んできた。当局の黒部川ワンダーランドの建設についての考えを伺う</p>	都市建設部長
		<p>2 豪雨時の越野荘防災対策について</p> <p>(1) 越野荘の安全対策として、越野荘上部の山田新用水の暗渠化や流木流入防止対策を早急に図るべきと述べてきた。これまで答弁では、暗渠化等事業化に向けて、関係機関及び関係団体と協議を進めてまいりたいとの答弁であった。協議はどうなったのか。今年度の事業化への見通しは</p> <p>(2) 農業関係者から用水が暗渠化になれば、サル・イノシシの対策が必要となるが、どうなのか</p>	産業経済部長 産業経済部長
		<p>3 旧主要地方道・黒部宇奈月線末整備の歩道について</p> <p>(1) 桜井中学校前の歩道整備が長年にわたり一部未整備である。幾度となく整備を求めてきたが、一向に整備が行われない。あらためて、いつから工事が滞っているのか。桜井中学校の新築までに解決したいとのことであった。どうなのか</p>	都市建設部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>1 市有地の有効利用について</p> <p>(1) 黒部市土地開発公社が平成23年10月に解散してから7年になろうとしている。その後、都市計画道路、区画整理事業等に利用されているが、多くの市有地が有効利用されていない。平成27年12月議会で、29.4ヘクタールの未利用地について、「売却できる土地等を把握し、宅地等については売却しやすい面積の分割や価格設定を行い条件付き一般競争入札または一般公募による売却に努める」と答弁されていたが、その後どうなったのか。これまでの経過と現状はどうか</p> <p>(2) 市の所有する利用目的が決まっていない土地の面積とおおよその土地価格はいくらか</p> <p>(3) 市の所有する利用目的が決まっていない土地は、早急に売却するか、有効利用するべきと考えるが、どうか</p>	<p>市長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>
		<p>2 宮野運動公園の陸上競技場について</p> <p>(1) 宮野運動公園内の陸上競技場について、平成28年6月議会で質問をしてきた。市長は「当分の間は宮野運動公園陸上競技場は修繕しながら使っていきますが、いずれ公認の取れる全天候型トラックに改修できればと思っている」と答弁されていた。平成30年度予算では改修費等が計上されていない。市長が答弁された「いずれ公認の取れる全天候型トラックに改修できれば」の「いずれ」はどの時期と考えることができるのか。早期の改修が必要と考えるが、どうか</p>	<p>市長</p>
		<p>3 小学校プールの改修について</p> <p>(1) 平成28年9月議会で、経年劣化が目立つ小学校プールについての質問で、市長は改修に前向きな答弁をされていた。石田小学校のプールは平成29年度に改修されたが、残りの小学校プールの改修が平成30年度予算では見えてこない。早期の改修・改善が必要と考えるが、どうか。昭和50年代につくられ経年劣化が目立つプールもある。今後の更新予定はどうか</p>	<p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	谷口弘義 (一問一答方式)	<p>4 生活困窮者対策について</p> <p>(1) 生活保護の受給者、受給者世帯は全国的に増えてきている。黒部市内の生活保護の受給者世帯は、平成25年度以降大きな変化は見られないが、生活保護の相談件数は平成26年の22件から、28年の48件と増えてきている。48件の相談があり、一方、新規保護世帯は14件となっている。48件の相談者は生活苦からの相談だと思うが、その生活実態をどう把握されているのか</p> <p>(2) 市内で市営住宅の居住費や水道・下水道料金、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料等の払えない家庭がある。こうした家庭を把握し、支援する必要があると考えるが、どうか</p> <p>(3) 平成28年12月議会で就学援助金の質問がされた。平成28年11月時点で要保護認定者3名準要保護認定者188名と答弁された。準要保護認定世帯は、収入が少なく生活保護世帯に準ずる世帯とのことだが、生活実態を把握し、何らかの対策を講ずる必要があると考える。市として何ができるのか</p> <p>(4) 黒部市就学援助要綱は、国の定めた方針に沿ったものとなっている。子どもの貧困対策のひとつとして、市独自で援助金等上乘せの必要があると考えるが、どうか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
5	村井洋子 (一問一答方式)	<p>1 地域おこし協力隊の活動と実績について</p> <p>(1) 2年間の活動とその成果を具体的に伺う</p> <p>(2) 市内他の地区でも、住定夢の館のように空き家等を利用した取組みで、多くの方に黒部市の良さを体験できるようにできないか</p> <p>(3) 隊員からの要望や提案などはないのか。それを施策に反映することはあるのか</p> <p>(4) 平成30年度予算案に2人目の採用が盛り込まれているが、現在の協力隊員の活動をどのようにつなげていくのか</p> <p>2 宮野運動公園と総合体育センターの位置づけについて</p> <p>(1) 宮野運動公園と総合体育センターの位置づけはそれぞれどのような役割を担っているのか</p> <p>(2) 宮野運動公園の整備計画や実施に向けての取組みは</p> <p>3 中心市街地の活性化に向けて</p> <p>(1) 休店舗が多く見受けられるが、後継者対策はどのように進めていくのか</p> <p>(2) 店舗と居住スペースが一体化している併用住宅が多いか。どのようにして情報収集とマッチングを進めていくのか</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	辻 靖 雄 (一括方式)	<p>1 市長在任約14年間の所感について</p> <p>(1) 旧黒部市と旧宇奈月町をまとめ、一体感の醸成の努力の成果は</p> <p>(2) 一級河川「黒部川」の土砂管理への提案は</p> <p>(3) 学校再編統合及び英会話教育やスクールミーティングの評価は</p> <p>(4) 観光振興の司令塔「観光局」への期待は</p> <p>(5) 財政健全化へ実質公債費比率22.9%から12.6%への執念は</p> <p>(6) 小水力発電事業へ更なる可能性は</p> <p>(7) 黒部市民病院の再整備と医師・看護婦不足の解消策は</p> <p>(8) JR黒部宇奈月温泉駅の周辺整備でロータリー駐車場の活性化策は</p> <p>(9) 新庁舎建設と運営の評判は</p> <p>(10) 新川地域消防組合の設立へのエピソードは</p> <p>(11) 名水マラソンの継続発展と「黒部アクアフェアリーズ」の支援は</p> <p>(12) 「道の駅」構想の通年物販体制と温浴施設の決意は</p> <p>(13) 公共交通の取り組みのポイントは</p> <p>(14) 仮称「くろべ市民交流センター」を核とするコンパクトシティへの思いは</p> <p>(15) 牧場経営は、将来的には民営移行か</p> <p>(16) パッシブタウン・Kタウンへのさらなる協力支援は</p> <p>(17) 退任後も「まちづくり」の参加される気持ちは</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
		<p>2 女性消防団の展望について</p> <p>(1) 女性消防団結成への経過と意義は</p> <p>(2) 「全国女性消防操法大会」参加の結果と反響は</p> <p>(3) 女性消防団の活動と訓練の内容は</p> <p>(4) 女性消防団活動への支援策は</p> <p>(5) 女性消防団の自立へ、屯所の設置計画は</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 高齢者が住み慣れた地域で安全・安心して暮らしていくために</p> <p>(1) 今年は平成24年以来の大雪で、大変厳しい冬となった。特に一人暮らしの高齢者の皆様は大変なご苦勞をされたと思うが、市内では民生委員、見守り員、地区の方などの多くの皆様が親身になって除雪に協力された話も聞いた。今冬における一人暮らし高齢者等の除雪状況をどのように認識しているのかについて伺う</p> <p>(2) 本市には「一人暮らし高齢者等除雪支援事業」がある。温かい救いの手であり、良い施策だと誇りに思っているが、福祉はとかく手をあげて申請しなければ助成を受けることができない。この事業の今冬の申請件数について伺う</p> <p>(3) 今年、石田地区で2件続いた住宅火災における死亡事故は、どちらも高齢者だけのお宅であった。心からご冥福をお祈りいたします。この住宅火災をどのように分析し、今後対応していくのかについて伺う</p> <p>(4) 本市では高齢者運転免許証自主返納支援として、市長の提案理由説明にもありましたが公共交通対策を推進しながらの相乗効果をめざした施策がいくつも実施されている。一方、運転免許証を返納するということは、これまでの自由な行動から、待ち時間、荷物運びの労力などで大きな制約ができると予想される。お店の人の「よく来られましたね」の声掛けだけでも励みになる。行政の高齢者運転免許証自主返納支援だけでなく、外に出てみようかと思ってもらえる社会全体で応援するシステムが作れないか。自主返納支援事業協賛店や協賛企業を募れないかについて伺う</p> <p>(5) 経済産業省の平成27年度の買い物弱者に関する調査では全国700万人が買い物弱者、買い物難民とされ増加傾向だそうである。そうした中で現在、全国で移動販売が少しずつ浸透している。本市では、コンビニチェーン店が東布施や宇奈月愛本地区、音沢地区で、又、ほかにも施設や昼時の会社へ販売に行っておられるお店もある。2つの山間地区へ行っておられるお店の話をお聞かせいただいたが、採算的には難しいようだ。当然単価にも影響する。しかしながら、高齢者が多い地区なので重宝がられ頼りにされているようだ。買い物難民に対する支援策について、伺う</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	高野早苗 (一問一答方式)	<p>2 猛威を振るったインフルエンザについて</p> <p>(1) インフルエンザの予防策の一つとしてワクチン接種がある。現在の予防接種法では定期接種の対象は高齢者等となっている。かつては小中学校の集団接種が義務付けられていたが、副反応や効果の問題により昭和62年には保護者の同意を得た希望者に接種する方式に変更、平成6年には打っても打たなくてもよい任意接種に変わった。小中学生のインフルエンザワクチン接種率について伺う</p> <p>(2) 任意接種に変更してから20年以上もたっているし、その間医学も随分と進歩したのではないだろうか。インフルエンザワクチンの効果、及び副反応について、伺う</p> <p>(3) インフルエンザにかかると、大変な負担、多くの場合苦痛が伴う。特に小中学生にとっては、進路等を決める大切な時期に当たる。小中学生のインフルエンザのワクチン接種率を高める方策について伺う</p> <p>(4) インフルエンザの予防策として、ワクチン接種のほかに手洗いやマスクの徹底など日頃の予防策も大切だと思う。保育所、子ども園、小中学校が今冬取り組まれたインフルエンザ対策、及び学級閉鎖状況について伺う</p>	<p>教育部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長 教育部長</p>

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式